



THE OGURA TIMES

港区と区議会をもっと身近に

2019.4 港区政レポート Vol.16

平成31年第1回定例会において登壇し、区長・教育長に質問いたしました。

第1回定例会 一般質問・予算質問

(一部抜粋)

★ 学校教員の負担軽減、また授業に専念できる環境を整える方法のひとつとして、公立小学校へ教科担任制度（国語の先生、社会の先生など）を導入してみてはどうか。児童ひとりひとりに多くの教員が関わることで良い教育となる。

教育長 ⇨ 学級担任にとっても負担が減り、より深く担当教科を研究できるようになる。児童にとってもより質の高い授業が受けられる効果がある。



一部の小学校では、担任同士がクラスを交換して授業を実施しているところもあり、小中一貫校の中学校教員が小学校で授業をしている学校もあるとのことです。

教員・児童のための教育環境向上に注力します。



平成31年2月、港区議会本会議場にて

港区のまちづくりや教育に関して改善を求めました。

★ 歩道の狭い道の電線類の地中化は、地上機器の設置場所が無いため進まない。既存の区有施設に地上機器を積極的に設置していくことはできないか。

区長 ⇨ (仮称) 港区子ども家庭総合支援センターの敷地を活用して、地上機器の設置を検討している。この他でも限られた道路空間で周辺の地中化が進むよう区有施設内で地上機器設置を検討していく。



★ 「建築に係る紛争の予防と調整に関する条例」で、説明会などの対象者範囲を改善しても良い点があるのではないか。

区長 ⇨ まちづくり協議会が活動している地区を説明対象に加えることを検討している。



学校備品のリースが開始

2017年9月の決算特別委員会で、学校行事に必要な備品（運動会用のテントなど）をリースで対応できるように求めたところ、2019年度から一部の学校で開始されることになりました。

不足している備品は近隣の学校などに借りに行き、設営から撤収、返却まで教職員が行なっています。負担軽減に繋がることを期待します。また、早く全部の学校でもリース対応が可能となるよう、働きかけていきます。

平成31年度 予算特別委員会報告

(一部抜粋)



マンションエレベーターに関する
工事助成制度のお問い合わせ :

建築設備担当 03-3578-2300

マンションエレベーター安全装置設置助成は、シティハイツ竹芝の事故を繰り返さないという区長の思いもあり、戸開走行保護装置設置は上限300万円、助成率10/10で、平成28年度から港区が開始した安全のための手厚い制度です。

しかし、住宅の部分が全体の延べ床面積の2/3以上のマンションという条件があります。例えば10階建ての建物で7階以上が住宅でなければ、この制度は使えません。半分の5フロア程度が住宅だけでは対象外となります。店舗と自宅が併設されているような建物の多くでは、この制度が適応されにくいことを指摘しました。

縦割りになりがちな行政構造では、ごみの話は環境リサイクル支援部、解体工事に伴う巣の除去はまちづくり支援部、地域との協力は各地区支所協働推進課、保健衛生となると管轄が保健所と対応がバラバラになります。そこで、保健所が全体の対策指針を作成する必要があるのではないかと指摘をしました。

防除のための工事や密閉容器の費用一部助成制度などを検討することも、啓発活動だけでは解決できない課題整理になるはずです。色々な視点の取り組みをお願いしました。



ねずみのお問い合わせ :
みなと保健所 生活衛生相談係
03-6400-0043



駐輪場を設置する際の台数計算根拠に疑問があります。港区では既存の駐輪場の台数、放置自転車の台数、そして地域特性を考慮して、これから新しく作る駐輪場に何台必要かを算定する考えとのことです。しかし、単純な足し算をするだけで解決する問題ではありません。

現在の麻布通りに設置されている暫定駐輪場は、東京都から占有許可を取っているため、一の橋公園が整備された後は駐輪場が廃止となり、場所を都に返却することになっています。



今ままの計画ではまだ駐輪場は不足し、暫定駐輪場の占有地返却後は放置自転車が集中する場となることが懸念されます。今から東京都と継続した都道占有許可の話し合いをしてもらえるよう、駐輪場整備をお願いをしました。

港区全体の駐輪場整備は課題です。これからも注視していきます。

小倉りえこ 予算質疑 【総務費】意識啓発の重要性 【衛生費】保健師の活用体制整備、ねずみ防除対策 【産業経済費】商業集積の形成、賃料助成制度、小規模事業承継支援 【土木費】駐輪場台数の考え方、エレベーター助成制度、港区まちづくり条例 【教育費】区費講師、学校改修、アカデミー制 小倉りえこ公式HPですべて公開しています。

小倉りえこ プロフィール

- ・ 港区麻布十番出身 港区立東町小学校卒
- ・ 米国サウスカロライナ大学理学部生物学科卒
- ・ バイオベンチャー・製薬企業において、リウマチ、がん、線維筋痛症などの医薬品研究開発に従事

建設常任委員会 東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
エレベーター等対策特別委員会 副委員長

〒106-0047 港区南麻布1-4-21-601

Tel/Fax 03-3455-6208

<http://ogura-rieiko.com>



議論資料